

日時 十一月廿五日午後一時廿五分—四時

場所 當座謝野課

工場主側 深見治三郎 大進 典

従業員側代表 田中謙一 外九名

ニシテ傍聴従業員側ヨリ

人加工部、一万円計上、根據並ニ來年度ニ於ケル事業主、見

(透)

2. 採用人員一五〇名ヲ職場別ニ明示セシタシ

3. 作業時間ハ何時間ナリヤ

4. 社負ノ整理ニ対シ如何ナル考ヘナルヤ

5. 社長整理ハ我々整理ト重大ナル關係アリ數字的一說明ヲ乞

フトノ五項目ノ質問ニ対シ工場主ヨリ

人ニ対シテハ現下ノ收勢ヨリシテ最モ適當ニシテ且ツ工場

継続、出來得ル程度ニ於テ計上セルモノナリト答フ

(2)及(3)(4)(5)ハ數字的一詳細工場主ヨリ説明シタル後従業員代表吉原ハ別記、如キ要求書ヲ提出シ一旦休憩、後午後三時面會要求書ニ対スル回答ヲ函保シ従業員、希望トシテ、現従業員、終工場面會ケルモ現下ノ收勢ニテハ到底不可能ト思料ス 故ニ最モ工場主ノ提案セル一万円ヲ限度トスル件及採用人員百五十名ハ余リニ僅少ナリ 我々ノ主張ハ一ヶ月ノ注文止シトモ一万五千円ト仮定シテ此ノ人員約ニ百六十名ハ儘ニ使用シ得ル見込アルヲ以テ之ヲ限度トシテ考慮アリタレト述ヘ、更ニ未拂工賃即時支給ニ關シテ三ノ回答ヲ重ネ最後ニ事業主側ヨリ考慮スル旨ヲ答ヘ午後四時會見ヲ打切リタリ

### 要求書

九月十四日突然工場閉鎖ヲ宣告サシテヨリ七十余日全従業員ハ徳忍自重意ヲ以テ所長ノ反省ヲ求メ此ノ問題ノ円満ナル